要請番号(JL50625B07)

募集終了





国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	B111 上下水道		個別	新規	2年	• 2026/2 • 2026/3 • 2027/1







【配属機関概要】

1) 受入省庁名(日本語)

2) 配属機関名(日本語)

アディスアベバ市政府

アディスアベバ上下水道公社(AAWSA)

3)任地(アディスアベバ) JICA事務所の所在地(アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間(徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先のアディスアベバ上下水道公社(Addis Ababa Water and Sewerage Authority)は、首都アディスアベバ市政府の 管轄のもと、上下水道施設の建設・整備、および運転維持管理責任を担っている。同市では人口急増により水需要が 約130万m3/日と推計される一方で、現在のAAWSAの給水量は79.2万m3/日であり需給逼迫に対応出来ていない。水源 は69%が地下水、31%が表流水で同市に隣接するLegedadi、Gefersa浄水場からの供給である。2021年から無収水率改 善を目的としたJICAプロジェクトが実施されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

AAWSAでは上述2か所の浄水場の運営を担っているが、特にLegedadi浄水場において、実際の処理能力は設計容量を下回っており、施設と送水ラインの改修工事が必要な状況である。両浄水場とも薬品注入による沈殿、急速砂ろ過、塩素消毒を実施しているが、AAWSAは現在の貯水施設の水質に適した薬品を選定し、注入量を適切に管理出来るよう日本の最新技術・経験から学ぶ必要性があり本要請に至った。隊員にはメインオフィスをベースとして研修や技術移転により スタッフの能力向上させることに加え、浄水場を最も効率的かつ効果的に運営するために、実地にて水処理手順を調査・ 分析し、最適な技術と運転方法を提案することが期待される。

2)予定されている活動内容(以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しな がら活動を進めます)

配属先同僚と協力し、以下の活動に取り組む。

- 1.ダム・浄水場の運転・保守手順を調査し、より効率的な運転・保守手順を提案する。 2.施設管理スタッフへの研修、技術移転。 3.既存の次亜塩素酸ナトリウム製造所とダム堆砂除去施設を評価し、必要であれば改修案を提案する。
- 4.運転・保守手順マニュアルの作成。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

高周波誘導結合プラズマ発光分析 、紫外可視分光光度計、イオンクロマトグラフィー、マイクロ波分解装置、全有機体 炭素計、全自動窒素測定装置

4) 配属先同僚及び活動対象者

スタッフ数:30名 年齢:20-50代 学歴:高卒〜大学院卒 勤続年数:勤続2-25年

5) 活動使用言語

6) 生活使用言語

7) 選考指定言語

英語

その他

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]: ()

[学歴]: (大卒) 工学 備考:配属先同僚とのバランス

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 10年以上 備考:経験に基づく助言

が必要

[参考情報]:

・工学もしくは環境科学部の学歴が必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (温暖冬季少雨気候) 気温: (9~27°C位) [電気]: (不安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水道]: (不安定)

【特記事項】

生活使用言語はアムハラ語となる。アムハラ語は現地到着後、現地訓練にて学習。水道は安定しており、断水、停電ともに週数回程度。

AAWSAのホームページ

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.